



一中だより

校訓 「自ら考え 自ら行い 自ら責任を」

豊中市立第一中学校
学校だより 第10号
令和3年(2021年)
9月24日
発行責任者 高橋武彦

いま だいじ 今あるものを大事に



いま せい いっぱい 今できることを精一杯やろう

きのう しゅうぶん ひ ひる よる なが おな ひ さかい ひ みじか
昨日は「秋分の日」。昼と夜の長さがほぼ同じになり、この日を境に日が短くなっていきま
す。また「秋分の日」はお彼岸の中 日でもあります。お彼岸は日本人にとって「祖先を敬い、
な ひと しの たいせつ ねんちゅうぎょうじ
亡くなった人を偲ぶ大切な年中行事」です。

さて、少し前のことですが、8月24日～9月5日まで東京パラリンピックが開催されました。
パラスポーツの迫力・面白さとパラリンピアン(パラリンピックの選手)の生きざまに触
れ、たくさんの驚きと感動があり、また勇氣、元氣、刺激をもらった人が多くいたと思います。

私が特にパラスポーツの迫力と面白さを感じたのは、車椅子ラグビーと車椅子バスケットボ
ールでした。日本が銅メダルを獲得した車椅子ラグビーでは、車椅子がぶつかり合う迫力と
トライへの執念に圧倒されました。車椅子バスケットボールでは、日本が銀メダルを獲得。
車椅子の躍動感あふれる動きと技の高さに驚きの連続でした。

中学生の活躍もありました。競泳では、両腕のない中学生の山田選手(14歳)が工夫と努力
で銀メダルをつかみ取り、インタビューを受ける時の飛び切りの笑顔はとても印象的でした。

そして、パラリンピックにしかない競技である「ボッチャ」。その面白さと精度の高さに私は
魅了されました。ボッチャは、脳性まひなどの比較的重い運動機能障がいがある人のために生ま
れたスポーツです。6個の持ち球を的の白いボールにいかにかに近づけるかを競います。持ち球は投げ
ても、転がしても、蹴ってもよく、投球フォームは自由。相手のボールを弾き飛ばしたり、的の
白いボールに当てて動かしたりと・・・何手も先を読んだ戦略的な競技でもあります。日本の杉村
選手が投げるボールの正確さはまさに神業の連続であり、気迫の一投に感動しました。

東京パラリンピックのテーマ「We have wings」の通り、どの選手も自分の羽
を精一杯広げ、羽ばたいていたのを目の当たりにし、パラリンピックの「無限の
可能性」を感じた人は多かったと思います。

パラリンピック創始者はこう言っています。

「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ」

この言葉は新型コロナウイルス感染症に苦しみながらも、立ち向かっている私たち全員に言
えることだ、と思いました。

言い換えれば「失ったものより今あるものを大事に」「できないことを嘆
くより、今できることを精一杯やろう」ということではないか、と思います。

ICT を活用して横断幕デザインを選ぶ授業

9月1日(水)に2年2組では、一人1台タブレットを活用し「体育大会の横断幕デザインを選ぶための授業」を担当の大矢先生の説明のもと行いました。

授業支援ソフト「SKY MENU Cloud」に先生が事前に2組生徒が作成した横断幕デザインを取り込み、それを生徒が各自のタブレットで見、良いと思ったデザイン3つについて「どんなところがいいのか」を画面上の付箋に打ち込んでいました。とても前向きに取り組んでいました。

グループワーク機能を使っているため、他の友だちが打ち込んだ「上手」「色合いがいい」といった意見をすぐに見ることができました。

情報の共有をすぐにはできるのはタブレット活用の利点です。

2年生の「キャリア学習」では、このグループワーク機能を使った情報共有を全クラスの授業で積極的に取り入れています。

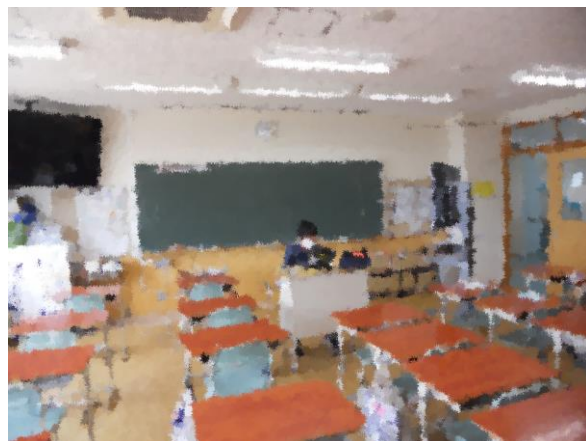


↑9月1日、2年2組の授業の様子

ICT(タブレット等)を段階的に活用した学習

新型コロナウイルス感染拡大により臨時休業になった場合や感染不安を感じてやむを得ず登校できない場合等には、本校では全学年で以下の方法により学習支援・指導を行っています。

- ① 学習プリント等の家庭への配布
- ② 電話・タブレットを活用した家庭・学校間の連絡
- ③ ICT(タブレット等)を段階的に活用した学習
 - ・ 授業での課題や板書等を授業支援ソフト「SKY MENU Cloud」等でオンライン送付・回収
 - ・ 学習ドリルソフト「タブレットドリル」を活用し課題ドリルの指示・回収
 - ・ オンデマンド配信(「Microsoft Stream」での授業や簡単な課題の説明動画等の配信)
 - ・ オンライン授業配信(HR教室での授業の黒板・モニター等を家庭と共有)



↑藤光先生のオンライン授業配信の様子

一中学生のみなさんへ

9月13日に配布した「オンライン授業を受ける時の約束ごと」(裏面参照)を全員で守ってもらいたいと強く思っています。ルールが守れないと、場合によってはオンライン授業をすることができなくなります。生徒の皆さんと先生たち全員で楽しいオンライン授業をつくりましょう。

特に、オンライン授業の画面を撮影したり、写真や動画で保存・共有したりすることをしてはいけません。もちろんSNS上に公開することも認められません。

他の人を傷つけたり、他の人が嫌な思いをしたりすることをしないよう、他の人への思いやりを大切にしてください。

緊急事態宣言は9月30日まで継続中 新型コロナウイルス感染予防を徹底しましょう

大阪府に発令されている緊急事態宣言は9月30日まで延長されています。感染者数は減少傾向にありますが、デルタ株の感染力を踏まえ、今できる新型コロナウイルス感染防止対策を継続しましょう。

■「3密防止」と「基本的な感染防止対策」を継続しましょう

① **基本的な感染防止策を徹底**しましょう。

「毎朝の健康観察」「マスクの着用」「手洗い」「換気」「人との距離を取る」

*マスク:「不織布マスク」推奨。

② **昼食時間が特に要注意**です。話はせず、前を向き静かに食べましょう。食べている時以外はマスクをつけましょう。

③ **教室・廊下・体育館は「常時換気」が基本**。エアコンをつけて、窓・扉をできる限り全開にしましょう。

★運動時のマスク着用は不要です★ ※マスク着用を希望する場合は着用しても構いません。
・運動時(体育の授業や運動部の活動等)はマスクの着用は不要です。ただし、「他の生徒との距離を十分確保する」「近距離での会話を控える」などの感染症対策を必ず徹底しましょう。

④ **ワクチン接種について**

ワクチン接種をする・しないは各家庭の判断です。接種するかしないか、によって差別やいじめなどが起きないように注意しましょう。

※ワクチン接種や副反応により登校できない場合は、欠席ではなく「出席停止」となります。

⑤ **生徒のみなさんや同居者の方が次の場合、登校を控えていただき、学校にお知らせください。「欠席」ではなく「出席停止」となります。**

- ・「新型コロナウイルス感染症に感染した場合」
- ・「濃厚接触者に認定され自宅待機中の場合」
- ・「PCR検査を受ける予定がある場合・PCR検査結果を待っている場合」
- ・「発熱などの風邪症状がある場合」

⑥ **部活動:「原則休止」を継続中**

※ただし、公式戦やコンクールへの出場、発表の場への参加及び参加に向けての活動にあたって、部活動の実施が必要と判断する場合には、感染拡大防止対策を徹底し実施します。

■ **期間:**公式戦やコンクールへの出場、発表の場へ参加する日の当日から1週間前の期間に限る。

■ **時間:**平日1時間以内、土日祝は2時間以内

■ **活動内容:**感染リスクの高い活動(生徒同士が近距離で向き合う活動、大きな発声や激しい呼気を伴う活動、身体接触を伴う活動など)は実施しません。

■ **発熱や風邪症状がある場合は、活動への参加を見合わせてください。**

■ **感染による偏見・差別につながらないよう、人権尊重・個人情報保護をよろしく**お願いします。

(9月13日に配付したものと同じ内容です)

オンライン授業を受ける時の約束ごと

- ① オンライン授業は「授業」です。普段の授業と同じように気持ちを切り替えて参加しましょう。
服装： 外に出ていて誰に見られても恥ずかしくない身なりで受けましょう。学校規定の服装が望ましいです。
- ② オンライン授業の画面を撮影したり、写真や動画で保存・共有したりをすることはできません。もちろんSNS上に公開することも出来ません。
自分を守り、他の人を守るため、必ず守りましょう。
- ③ オンライン授業に参加する時の「名前」は、自分の名前を入力します。
他人になりすまして参加することや偽名を使って参加することは絶対にしません。
※「なりすまし」は犯罪になることもあります。
- ④ 音声（マイク）は常時「ミュート」にします。発言を求められたら解除しましょう。
その他に発言がある時は手をあげ、指名されてから話しましょう（学校での授業と同じです）。
*発言を終了するときは『以上です』を最後につけましょう。
- ⑤ ビデオは常時「オフ」にします。授業の先生が許可したら「オン」にしましょう。
※個人情報や他の人を傷つけたり嫌な気持ちになったりするのは映しません。
- ⑥ チャット機能は必要な時に使います。
(先生への個別のチャット)
 - ・「声が聞こえない」などの不具合がある時。
 - ・質問がある時や他の人に知られたくない時。
(全体へのチャット)
 - ・先生に質問されてチャットで答えるように言われたとき。
※生徒同士の個別のチャットは行いません。
- ⑦ その他、授業の邪魔になったり、他の人が嫌な思いをするような使い方はしません。

ルールが守られない場合、オンライン授業をすることができません。

お互いに気をつかって、楽しいオンライン授業を皆でつくりましょう。